

## 平成26年度 水道事業の概要

## 主な業務状況

- ・ 給水人口は 277,522人で、前年度に比べ 1,712人減少しました。
- ・ 有収水量（料金を賦課した水量）は 29,431,882 $\text{m}^3$ で、一部の製造業の大口需用者が井戸水へ転換するなど各企業におけるコスト削減の影響から業務用使用水量が減少するとともに、一般家事用においても減少したことから、前年度に比べ 1,349,942 $\text{m}^3$ 減少しました。
- ・ 有収率（配水量のうち有収水量の割合）は 85.8%で、前年度に比べ 2.5ポイント減少しました。

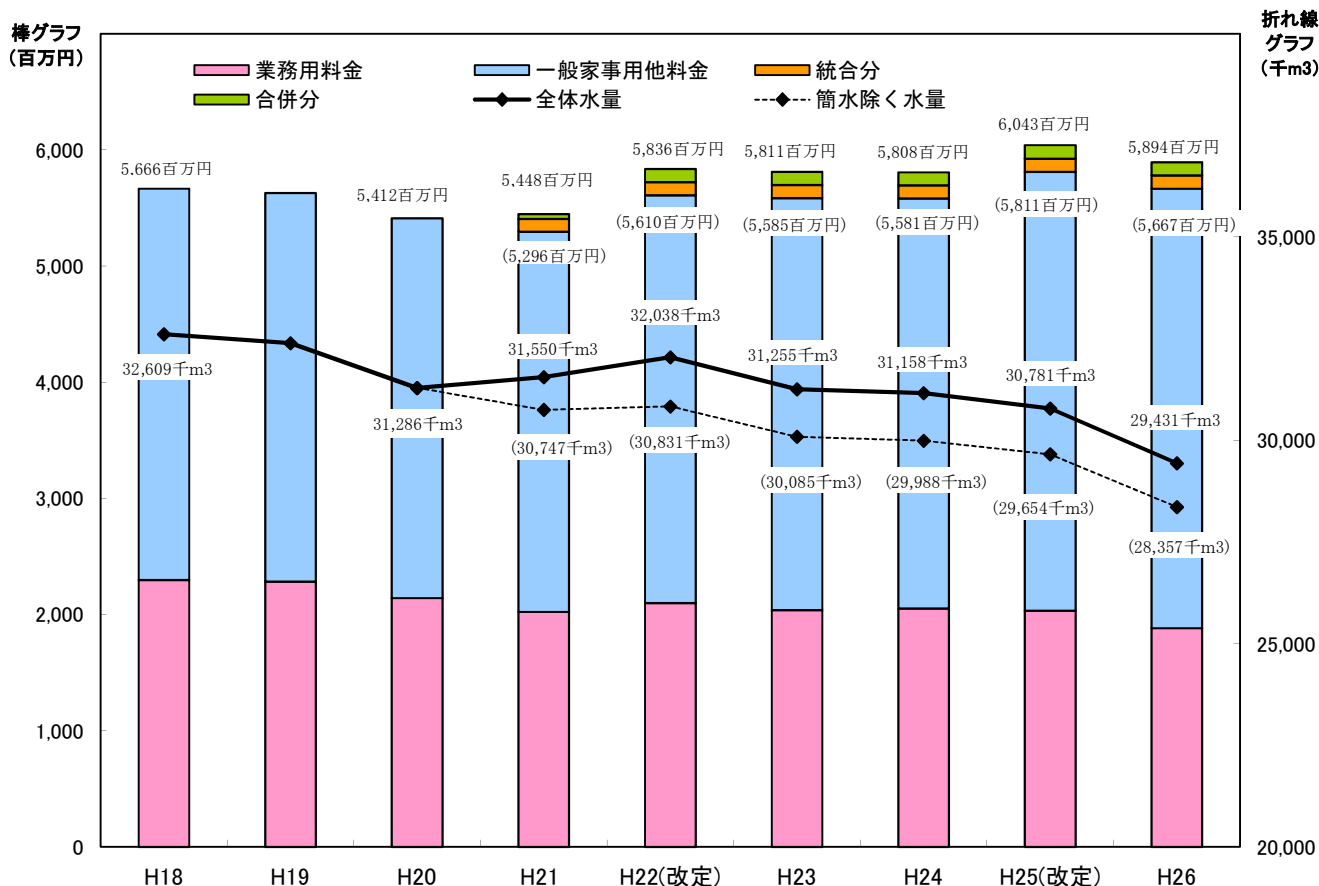
項 目	平成26年度	平成25年度	増 減	対前年比
給水人口（人）	277,522	279,234	△ 1,712	99.4%
配水量（ $\text{m}^3$ ） A	34,305,006	34,845,650	△ 540,644	98.4%
有収水量（ $\text{m}^3$ ） B	29,431,882	30,781,824	△ 1,349,942	95.6%
有収率（%） B/A	85.8	88.3	△ 2.5	—

# 水道料金の推移

平成26年度の使用水量は、前年度に一部の製造業の大口需用者が井戸水に転換するなど各企業におけるコスト削減の影響から業務用使用水量が減少するとともに、一般家事用においても減少したため、前年度に比べて約1,350千 $m^3$ の減少となりました。

使用水量の減少に伴い、料金収入は、約58億9,400万円となり、前年度に比べ約1億4,900万円減少しました。

### 年度別 水道料金・使用水量推移



### 水道料金推移 (税抜き)

単位：百万円

年度	水道事業					簡易水道事業			総合計			
	一般家事用他	対前年増減	業務用	対前年増減	合計(A)	対前年増減	水量(千 $m^3$ )	統合分(b1)	合併分(b2)	水量(千 $m^3$ )	料金(A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H18	3,369	△ 20	2,297	△ 31	5,666	△ 51	32,609	戸鬼無大 隠里岡 信州新町条中	44	803	5,448	36
H19	3,344	△ 25	2,285	△ 12	5,629	△ 37	32,384					
H20	3,271	△ 73	2,141	△ 144	5,412	△ 217	31,286					
H21	3,274	3	2,022	△ 119	5,296	△ 116	30,747	108	44	803	5,448	36
H22(改定)	3,511	237	2,099	77	5,610	314	30,831	111	115	1,207	5,836	388
H23	3,546	35	2,039	△ 60	5,585	△ 25	30,085	112	114	1,170	5,811	△ 25
H24	3,528	△ 18	2,053	14	5,581	△ 4	29,988	114	113	1,170	5,808	△ 3
H25(改定)	3,779	251	2,032	△ 21	5,811	230	29,654	115	117	1,127	6,043	235
H26	3,784	5	1,883	△ 149	5,667	△ 144	28,357	114	113	1,074	5,894	△ 149

※(改定) は、料金を改定した年度

# 平成26年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

## 収益的収入及び支出 (税抜き)

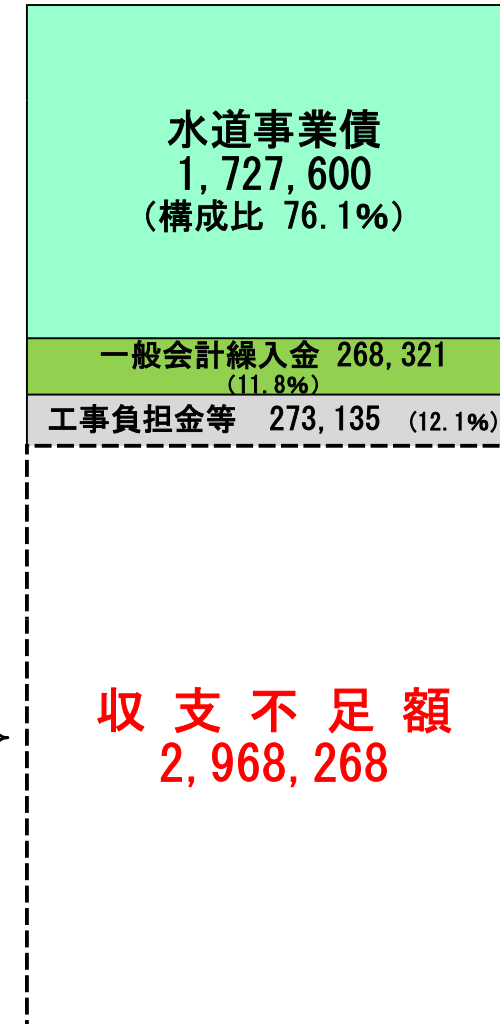
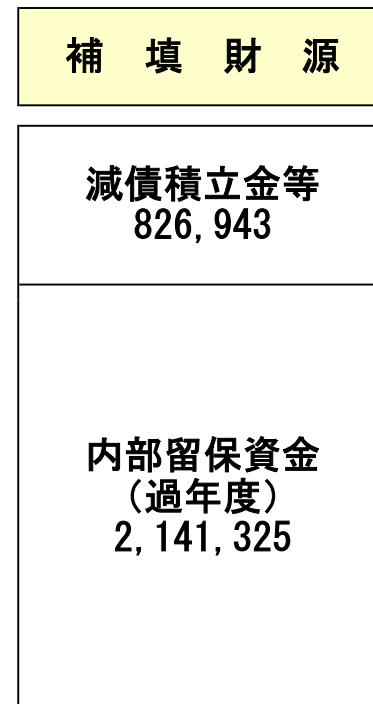
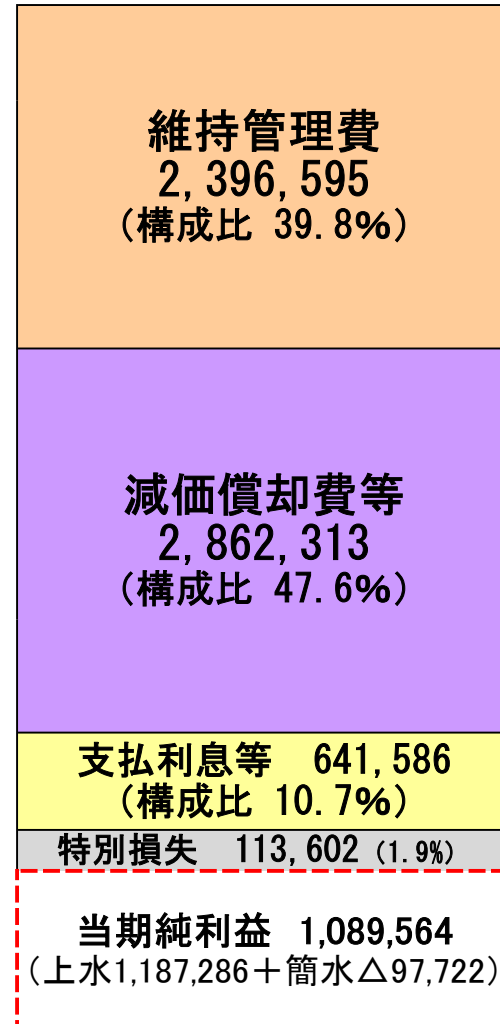
## 資本的収入及び支出 (税込み)

収入 7,103,660

支出 6,014,096

収入 2,269,056

支出 5,237,324



その他収益 261,386  
(構成比 3.7%)

- ・ 加入金 92,344
- ・ 負担金返還金 56,200
- ・ 配水負担金等 40,043

**純利益等の処分**  
平成27年8月17日議決

① 当期純利益

- ・ 減債積立金 992,564
- ・ 建設改良積立金 97,000

② その他未処分利益剰余金変動額

- ・ 資本金への組入れ 8,098,500

※新会計制度により、過去の減価償却済み額に対応する収益化済み相当額を計上したもの

**補填後の内部留保資金残額 5,252,222**  
(損益勘定留保資金 4,266,222 + 建設改良積立金 986,000)

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	1,901,381
現年度分	2,364,841

建設改良積立金の内訳

22年度	185,000
23年度	189,000
24年度	203,000
25年度	312,000
26年度	97,000

## 平成26年度 下水道事業の概要

### 主な業務状況

- ・ 汚水処理区域内人口（下水道に接続可能な人口）は 371,295人で、下水道整備の進捗に伴い、前年度に比べ 1,684人増加しました。また、人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は97.0%となり、前年度に比べ 0.8ポイント増加しました。
- ・ 水洗化人口（下水道に接続済みの人口）は 348,155人で、前年度に比べ 1,048人増加しました。
- ・ 有収汚水量（使用料を賦課した汚水量）は 36,977,035<sup>m</sup>で、篠ノ井・松代を中心とした流域下水道分の水洗化が進む一方、水需要の減少に伴う単独公共下水道分の汚水量が減少したため、前年度に比べ 158,805<sup>m</sup>減少しました。

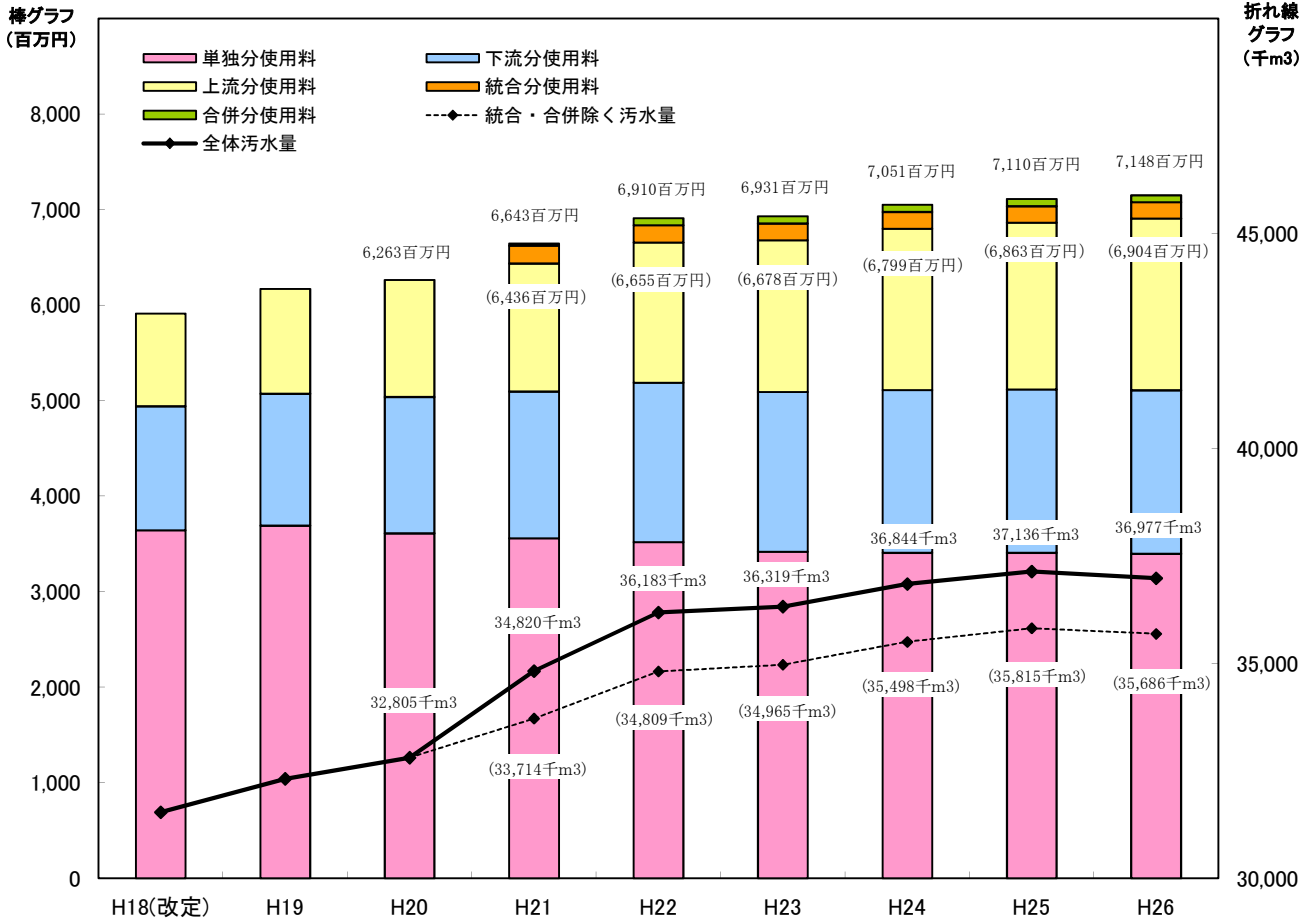
項 目	平成26年度	平成25年度	増 減	対前年比
汚水処理区域内人口（人）	371,295	369,611	1,684	100.5%
人口普及率（%）	97.0	96.2	0.8	—
水洗化人口（人）	348,155	347,107	1,048	100.3%
有収汚水量（ <sup>m</sup> ）	36,977,035	37,135,840	△ 158,805	99.6%

# 下水道使用料の推移

平成26年度の下水道使用料収入は、約71億4,800万円で、前年度に比べ約3,800万円増加しました。

汚水量は、篠ノ井・松代地区を中心とした流域下水道分は水洗化が進んでおりますが、水需要の減少に伴い、公共下水道単独分が引き続き減少していることから、全体汚水量は、159千m<sup>3</sup>減少しました。

年度別 下水道使用料・汚水排除量推移



下水道使用料推移 (税抜き)

単位：百万円

年 度	公共下水道			合 計 (A)	対前年 増 減	汚水量 (千m³)	統 合 分 (b1)	合 併 分 (b2)	汚水量 (千m³)	総 合 計	
	単 独	流域下流	流域上流							使用料 (A)+(b1)+(b2)	対前年 増 減
H18(改定)	3,643	1,300	969	5,912	414	31,535	農集排 小規模 戸隠里	信州新町 中 条			
H19	3,693	1,380	1,097	6,170	258	32,313					
H20	3,611	1,426	1,226	6,263	93	32,805					
H21	3,559	1,537	1,340	6,436	173	33,714	185	22	1,106	6,643	380
H22	3,519	1,667	1,469	6,655	219	34,809	181	74	1,374	6,910	267
H23	3,417	1,672	1,589	6,678	23	34,965	177	76	1,354	6,931	21
H24	3,408	1,703	1,688	6,799	121	35,498	175	77	1,346	7,051	120
H25	3,408	1,709	1,746	6,863	64	35,815	172	75	1,321	7,110	59
H26	3,397	1,711	1,796	6,904	41	35,686	171	73	1,291	7,148	38

※ 特定環境長野分については、各処理区に加算

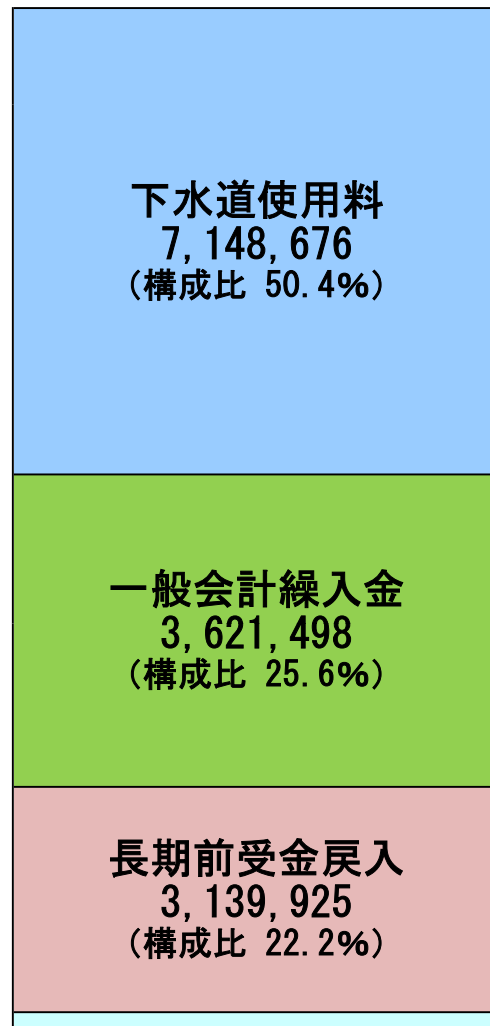
※ (改定) は、料金を改定した年度

# 平成26年度 下水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

## 収益的収入及び支出 (税抜き)

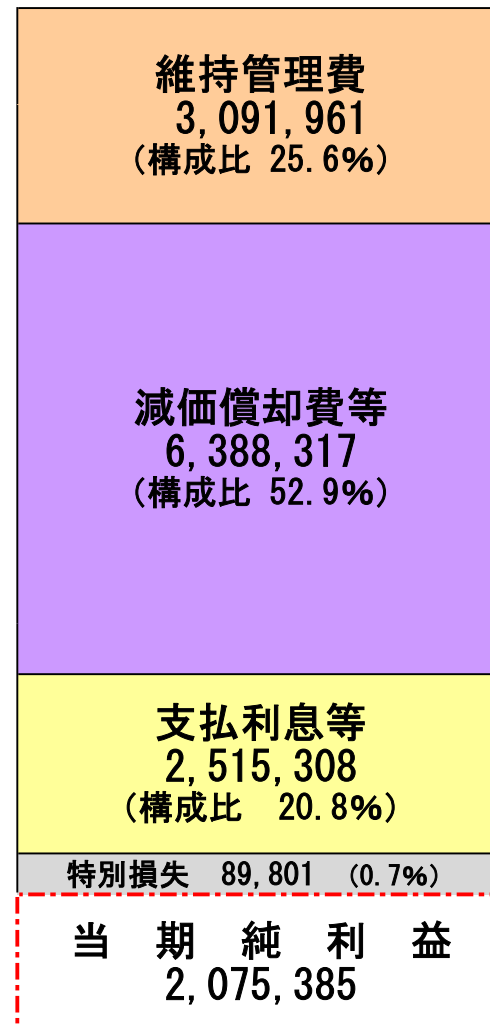
収入 14,160,772



その他収益 250,673  
(構成比 1.8%)

- ・ 県負担金返還 196,749
- ・ 国庫補助金 7,223
- ・ 受取利息等 46,701

支出 12,085,387



(償却制度の見直しによる調整額)  
その他未処分利益剰余金変動額  
23,121,991

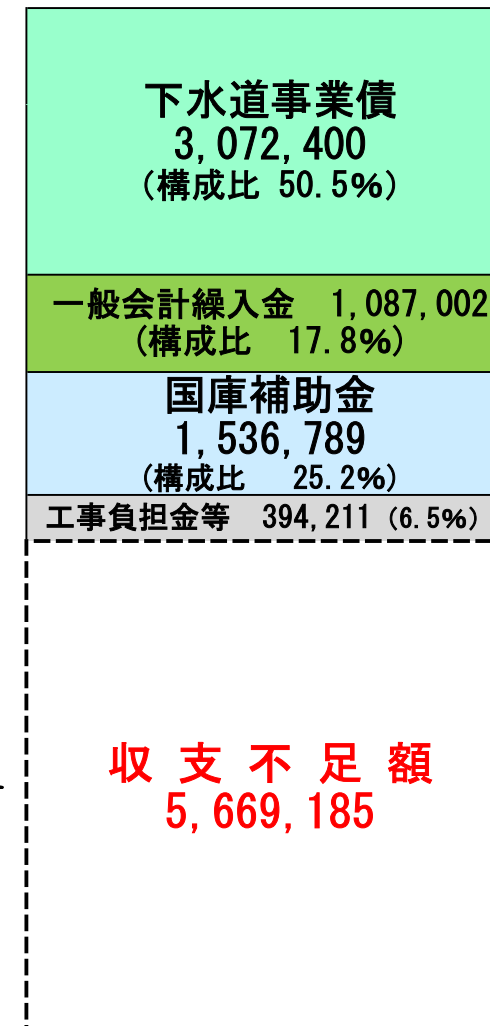
### 純利益等の処分 平成27年8月17日議決

- ① 当期純利益
  - ・ 減債積立金 2,075,385
- ② その他未処分利益剰余金変動額
  - ・ 資本金への組入れ 23,121,991

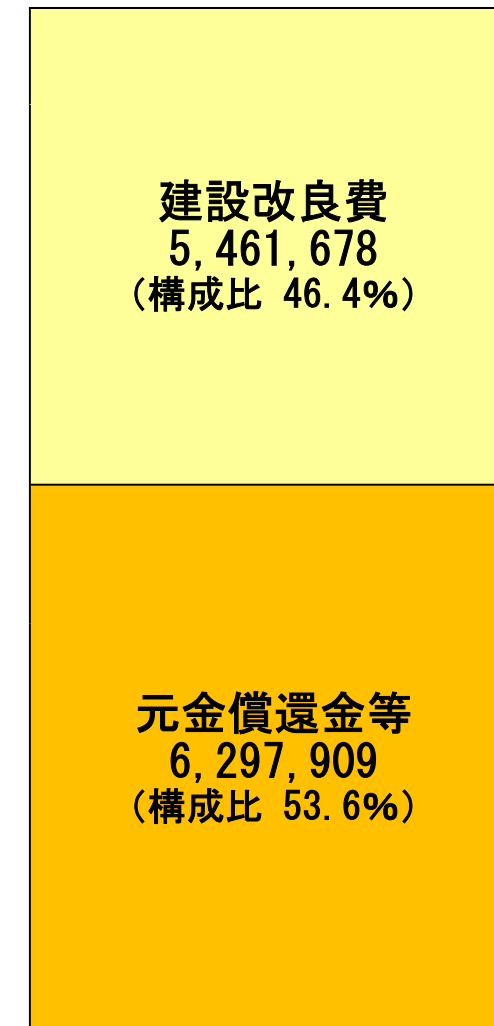
※新会計制度により、過去の減価償却済み額に対応する収益化済み相当額を計上したものの

## 資本的収入及び支出 (税込み)

収入 6,090,402



支出 11,759,587



### 補填財源

減債積立金等 720,441

内部留保資金  
(過年度)  
4,948,744

補填後の内部留保資金残額 4,236,846

### 損益勘定留保資金の内訳

過年度分	1,001,967
現年度分	3,234,879